

☆関東支部

報告

清澄フィールドキャンプ 実施報告

2024年 8月19日から24日にかけて、京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻地質学鉱物学の先生方の御協力・御支援のもと、関東支部は清澄フィールドキャンプ（地質調査の演習；以下、清澄FCと略記）を共同実施した（参加者学生4名；全員学生会員になった）。現地指導者は、関東支部幹事の方達、加藤。

清澄FCの参加者には、実施約1ヶ月前から、地質学および地質図学演習の課題を与えて、下準備をしてもらった。初日の8月19日、参加者には、京大生が東京大学千葉演習林清澄宿舎に到着する前に、歩測、走向・傾斜の計測、ウルフネットへの投影などを練習してもらった。2日目以降、京大生とともに、日中は七里川およびその支流で野外調査を、夜はルートマップとフィールドノートへの墨入れ・柱状図の作成をしてもらった。参加者は完成するまで寝られない。近くにコンビニのない宿舎ではほぼ缶詰状態になっていたが、参加者にとって貴重な体験になったと思う。最終日、参加者には関東支部発行の修了証が手渡された（これまでに修了された方は32名となった）。その後、京大の有志の方々と勝浦海中公園にて黒滝不整合を見学した。

清澄FCは、地質図学演習という科目を受けることができない、あるいは、地質図学演習に基づく地質調査が実践できなかった学生さんに、その機会を与えるものであり、地質学の「真髄」を知る極めて重要な事業の1つと考える。

開催にあたり、京都大学の佐藤活志先生、松岡廣繁先生、成瀬先生から多大なるご支援を賜った。TAの石田昂汰朗氏・辻本 樹氏には現地にてお世話になった。また、東京大学千葉演習林の方々には、宿泊に際しお世話になった。以上の方々に厚く御礼申し上げる。

（関東支部幹事長 加藤 潔）

参加者の感想

2024年8月19日から24日にかけて東京大学千葉演習林にて一般社団法人日本地質学会関東支部が主催する清澄フィールドキャンプに参加させて頂いた。私が所属する島根大学総合理工学部地球科学科では学部一年からフィールドに出る機会に恵まれ、地質図学演習といった講義で地質調査の基礎を学んできた。今回はこれまでに学んだことを実践する経験を積みたいと考え参加を決めた。

実習では歩測や走向・傾斜の測り方といった基礎的なことから丁寧に教えて下さった。地図への断層の記入や野帳への鍵層の記載など新たに学ぶことも多かったが、分からないことも京都大学や関東支部の先生、他の参加者の方々に助けられ理解を



京大メンバーと清澄FCメンバーとの集合写真

深めることができた。朝から夕方まで歩き手に入れた一つ一つの情報を夜にルート柱状図を書いて整理する作業の流れはなれないことも多く大変だったが地質調査のおもしろさと奥深さに気づくことのできる良いきっかけとなったと考えている。

実習で指導していただいた関東支部の清澄FC現地講師の方々、京都大学理学部地球惑星科学専攻地質学鉱物学教室の皆さんには大変お世話になった。また、東京大学千葉演習林の方々にも素晴らしい学習環境を提供していただいた。他の実習参加者も含め多くの方に助けられ実り多いフィールドキャンプに取り組むことができた。厚く御礼申し上げる。

（鳥取大学2年 伊藤 優）

私がこの清澄フィールドキャンプに参加するに至ったのは、自分自身の知識不足と、大学生活の中で実習に行く機会があまり多くないことを感じていたためでした。そのため少しでもフィールドに出ることで、自分の眼や知識、調査の仕方や考察の仕方を養うことが私の目標でした。

結果から言うと私の目標は達成できたと思います。初め、フィールドキャンプに行くまでは地質図学を一部添削してもらい、危ういところやわからないところもあったため、その都度メールで教えてもらいながら勉強することで理解していくことができました。

フィールドキャンプでは、集団についていくことが難しく後れをとる場面が多々あったのですが、地質学会の方達さんに教えてもらいながら、追いついた先で加藤さんに地質や地形の説明をもらうことでみんなと同じレベルまで理解しながら歩くことができました。京都大学の先生たちもとてもやさしく、一番初めに露頭にて柱状図の書き方がわからずに立ち尽くしていたところを、実際に露頭を見ながら教えていただきました。その後も質問をするとわかりやすく答えてくれました。

いろいろな人に教わりながら勉強をしていく、このような環境で学ぶことができたからこそ私は実力や知識をつけることができたと思っています。このような体験をさせていただいたことに感謝しています。

（日本大学3年 杉本優月）



地質調査の様子



清澄宿舎での墨入れ・柱状図作成



清澄FCのメンバー（左から中村侑己氏、杉本優月氏、伊藤 優氏、石原康輝氏；方達重治幹事、加藤 潔幹事）